

真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第 22 号

平成28年(2016年)
7月1日 発行



明治生まれの「旧堺燈台」

「三日だけ寝込んでお迎えがきて欲しい」
「人の世話にならずに死んでいきたい」。その
ような話をよく耳にします。

なるほど、私たちは「人に迷惑をかけては
いけない」と教えられてきました。しかし迷
惑をかけないようにするのは、命を終えると
きだけなのでしょうか。

私たちは、生まれたときから思いもかけな
いほどの人たちにご迷惑をかけ、お世話にな
りっぱなしです。でもそのことを忘れ、元氣
なときは人に迷惑をかけていない、むしろ私
がたくさんの人を支えていると思って生活し
ています。

あるお寺の掲示板に「人は人の前を横切ら
ずには生きていけない」とありました。生き
ているということは他の人に迷惑をかけてい
るということです。

大切なのは「迷惑をかけずに生きていくこ
と」ではなく、「迷惑をかけることなしに人
は生きていけないと知ること」なのではない
でしょうか。

(玉出宗順)

う び がん 到 彼 岸



～大阪別院
彼岸会法話より～

すえまつ まさあき
西光寺 寿栄松正顕

今回は『仏説無量寿経』に説かれる四十八願より、第一願「もし我仏を得んに、国に地獄、餓鬼、畜生有らば正覺をとらじ」をご讃題にお話しさせていただきます。

阿弥陀さまは、「自らの国に地獄、餓鬼、畜生が有るのならば正覺（さとり）をひらかない」と誓われています。

地獄、餓鬼、畜生というあり方を三悪道といいますが、今回はその中で餓

鬼について訪ねていきたいと思います。

餓鬼道

餓鬼とは口は小さく体は大きい、食べても食べても満足できない姿を表しています。本当は満たされていても、満足できない私の姿そのものなのです。

私はルアー（疑似餌）釣りが趣味で、よく海に行きます。釣場について、すぐに釣ればいいのですが、なかなか釣れない。するともつと釣れるルアーがあるはずだと釣具屋へ。新しいルアーを買ってまた海にもどります。

釣りを終え、自宅に帰ると今度は釣りの映像などでいかに釣れるかを研究します。そうすると上手に魚を釣っている姿をみてしまいます。そこで新しいルアーなら釣れるのだと思い釣具屋へルアーを買いに行つてしまいます。

私たちはひとつのものに満足せずに次から次へと新しいものに飛びついて

いるのです。それが迷いであることに気づかず、いつも満足できないのが私たちの本当の姿なのです。

次から次へと貪る思いで自らが苦悩していることに気づきもしない私を阿弥陀さまは悲しんでおられるのです。

私の姿

餓鬼道とはどこかにある、私とは関係のない世界ではなく、私のいるこの世界こそが餓鬼道であり、阿弥陀さまは餓鬼道のない浄土を通して、私たちの本当の姿をあきらかにしてください。

それが第一願なのだとは受け止めていただいています。

（平成28年3月23日勤修の

大阪別院彼岸会法話より）



如^{によ}是^ぜ我^が聞^{もん}

み教えと道德

大阪教区・高照寺 隅谷俊紀^{すみや としき}師



いう思いでいたそうです。

しかし、時が経つにつれて「私がみ教えを伝えるのだ」という思い上がりの心が生じていたのではないかと。それと同時に、一連の出来事から「道德」の大切さをも知らされたとお話いただきました。

お話を聴いて

「道德」とは人間同士が生きていく中で守らなければならぬ基本的なルールです。でもその基準は時と場合によって変わることも。そんな「道德」の中で生きることを通して、「み教え」の普遍性が知らされるのでしょうか。

また「み教え」とは、人から人に伝えるものではなく、**伝わるものであるとも聴かせて**いただきました。

(葦名 彰 記)

平成28年1月17日、佛青懇和会主催の「聞法の集い」が開催され、隅谷師は「み教えと道德」というテーマで法話されました。

「み教え」を伝える

隅谷師のご自坊では、近所のお子さんを集めて「寺子屋くらぶ」という小学生の集いを開催されています。お勤めのあと、お話をされるのですが、子どもたちに「道德」を超えた「み教え」のことを話したいと思っても「道德」

にとどまってしまうことが多く、どのように伝えたらいいのか悩んでいたそうです。

子どもを通して

そんなとき、息子さんは友だち関係に行き詰っていました。小学校でドッジボールをしていると、調子に乗って他の子のボールを横取りして、友だちの輪からはじき出されるということがあったのです。父親である隅谷師は僧侶として息子さんに「み教え」を話して論そうと考え過ぎ、何

も言えませんでした。

しかし母親は「自分がされて嫌なことは他人にしないこと」と友だちとの関係性を「道德」的に話し、息子さんも納得したそうです。

「道德」の大切さ

隅谷師は、「寺子屋くらぶ」を始めた当初「学年の違う子ども同士が、本堂で遊んだり学んだりする中から、のおずとお寺に親しみをもち、いづれ仏法に耳を傾けてくれるきっかけになってくれれば」と

エキマルシェ新大阪



エキマルシェ新大阪の入口



駅弁にぎわい

エキマルシェ新大阪
 大阪市淀川区西中島 5-16-1
 JR 新大阪駅構内 在来線 改札内
 営業時間：9:30 ～ 22:00
 （一部店舗により異なります）
 定休日：年中無休

駅弁と鉄道グッズ

エキマルシェ新大阪は、平成27年3月、JR新大阪駅の在来線改札内に開業した商業施設です。今、はやり「駅ナカ」です。

関西ならではのお土産を揃えるお店や、おすめのグルメを楽しめるレストラン、一人でも気軽に入れ、お持ち帰りもできるお店もあり、お買い物とお食事の両方が楽しめます。

乗り換えの合間にさっと何か食べたい、新幹線の中で食べるお弁当がほしい、手土産を買いたいというときに改札を出ないでお買物やお食事ができるので大変便利です。

イチオシのお店は「旅弁当 駅弁にぎわい」です。北は北海道

ほかにも美味しそうなお酒のおつまみやお菓子もたくさんあり、目移りしながらウキウキします。新幹線に乗られる方は在来線の改札から入場されてはいかがですか。また、電車に乗らない方でも入場券を買って改札内に入って充分に楽しめると思います。（佐々木太二）

入場券で入れます

のホタテ弁当やいくら弁当、南は鹿児島黒豚弁当まで日本全国の駅弁が販売されています。旅行に行かなくとも駅弁を買えば旅行気分を味わえます。

また、鉄道グッズのお店「駅鉄ポップショップ」があり、こちらは鉄道ファンの方や電車好きなお子さんにも人気です。知る人ぞ知る「ドクターイエロー」のグッズもありましたよ。

ごえんさんを訪ねて

ゆいしんじ

唯信寺 (八尾市)

ふじさわ やすと

藤澤泰人 住職



唯信寺の開基については、亨保十(一七二五)年頃に清涼軒せいりょうけんという方が、当地に道場を開いたのがその初めとされており、今も境内に残る墓石がそれを物語っています。

当寺は近郊の三堂学舎とともに、寺子屋として近隣の子弟の教育の場ともなっていたようです。

この地は大阪と奈良を結ぶ奈良街道に近く、古くは河内木綿の産地として知られました。

また本願寺派の久宝寺御坊(顕証寺)と大谷派の八尾御坊(大信寺)の寺内町と隣接し、今も寺内町文化漂う町並みです。

自然と共に

ご住職は、大学を卒業後、奈良県の中学で理科教員として十二年間勤められました。日本一広い村である十津川村にも赴任されたことがあり、「大阪では想像できないくらい星空が



唯信寺の本堂内陣

きれいです。よい温泉もありますので、一度訪ねてみてください」とおすすめていただきました。

また、趣味は山登りで、最近では、上高地から涸沢へ、近所では葛城山・比良山・六甲山にもよく登られる自然派住職です。「雄大な大自然に包まれていると、生かされてある生命の不思議を感じられる」とも。

「僧伽に学ぶ」

平成二十六年六月に唯信寺の住職を継職されました。「その任にたえるだけの適性があるかわかりませんが、謙虚におこたえになります。ご門徒の方々に支えてもらいながら、「ていねいに」ということを心がけて日々の法務に携わっております。

また、僧侶として広く研鑽を積むことに力を注がれ、大阪別院の研修会はもとより、佛光寺本山の声明研修会や毎月開催される「僧伽に学ぶ」研修会に積極的に出席されています。聴講のなかで我が身に響いたことなどを門徒さんにお話しされているそうです。

(長田 譲)

■唯信寺(ゆいしんじ)

〒581-0004

八尾市東本町2丁目3番30号

電話 072-922-6024

Fax 072-922-6024

大悲トピックス

■新役員紹介

大阪教区の法友会（住職会）、さつき会（坊守会）ならびに佛青懇和会（青年会）で総会が開催され、新役員が決定しました。（敬称略）

法友会

- ▽会長・中院秀昭（光源寺）
- ▽副会長・隅谷俊紀（高照寺）
- ▽書記・佐々木太一（常光寺）
- ▽会計・寺田宗隆（報恩寺）
- ▽監事・善本和彦（本光寺）
- ▽理事・白鷺洲秀信（福泉寺）
- ▽理事・遠上正順（常念寺）

さつき会

- ▽会長・門川絢子（浄方寺）
- ▽副会長・竹川英子（光正寺）
- ▽書記・遠上行子（常念寺）
- ▽会計・岩澤尚子（誓源寺）
- ▽監事・安達都志子（圓光寺）

佛青懇和会

- ▽会長・寿栄松正顕（西光寺）
- ▽副会長・玉出宗順（光福寺）
- ▽会計・門川崇志（浄方寺）
- ▽書記・道野真弘（超願寺）
- ▽監事・松野正暁（光念寺）
- ▽監事・中井翔隆（最勝寺）

■「大悲の会」後援・布教大会

「大悲の会」では、大阪教区内寺院の聞法活動の促進、ならびに教区内布教使の研鑽のため、各寺院における布教大会開催のコーディネートを行うことにいたしました。

各寺院が独自で布教大会を開催するのはなかなか困難ですが、「大悲の会」が寺院と布教使との間に入って調整することで双方にとって有意義な法座が開催されるものと考えています。この布教大会が聞法活動の中心となっていくことを願ってやみません。

そこで、初めてとなる「大悲の会」後援・布教大会を、7月16日（土）午後3時より高照寺様にて開催します。ご聴聞くださいますようご案内申し上げます（詳細は8頁参照）。

（大悲の会一同）

燦ホールディングス グループ

なごみ庵

き・た・は・ま

KITAHAMA

法要料理

希望の場所までお届けします

■四條畷店 ☎0743-78-7521

■瓜破店 ☎06-6769-0140

■伊丹店 ☎072-773-7531

※2012年5月現在 2-0132

御本山 近 用達

株式会社 川勝法衣店

フリーダイヤル 0120-075-055

（〒600-8344）京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367(代)

FAX (075) 371-5088

- 大正三年創業の信頼と実績 -

石留石材株式会社

各種石塔・石仏・記念碑

寺社建築石材まで

○ご相談は下記フリーダイヤルへ 携帯・PHS OK

0120-53-5578

[本社・工場・展示場] 藤井寺市津堂2丁目9番29号

ご寺院、お役に立てる商品が、
きっと見つかる情報誌！

寺がある、法が活きる、寺の友社。

株式 寺の友社

〒611-0002 京都府宇治市木幡平尾54番地の2

TEL 0120-7676-39 FAX 0120-7676-29

http://www.teratomo.jp

ご希望の、ご寺院には、無料カタログをお送りします。

（株）小林造園

代表取締役：小林正典

〒603-8442

京都市北区西野山東町 36-1

tel 075-491-4256

fax 075-491-9432

燦ホールディングス グループ

まごころ葬儀を創造する。

公益社

公益社 ご葬儀相談センター (24時間・365日受付、通話料無料・携帯電話OK)

0120-567-701

※2012年5月現在 2-0131

だいひ 絵日記

4月20日(水) 大悲の会編集会議(第22号読み合わせ)

5月7日(土) 佛青懇和会総会

5月18日(水) 大悲の会編集会議(第22号読み合わせ) ①

5月19日(木) さつき会総会 ②

6月6日(月) 法友会総会 ③

6月6日(月) 大阪教区総会 ④

6月16日(木) さつき会研修会

(佛光寺大阪別院の宝物拝観とお話・講師: 葦名 彰 師)

6月25日(土) 大悲の会編集会議(第22号発送作業・第23号内容検討)

(法友会=住職会、さつき会=坊守会、佛青懇和会=青年会)



表具 八木米寿堂

御本尊掛軸修理 絵画、書の表装

〒600-8073

京都市下京区柳馬場通仏光寺上る

tel 075-351-2853 fax 075-352-3258



株式会社 モントラベル

〒550-0013

大阪市西区新町1-8-1 行成ビル

TEL. 06-6531-1344

FAX. 06-6531-1346

<http://www.monto.co.jp>

仏跡参拝ならお任せください!

浜屋は関西最大級の

お仏壇・お仏具・墓石・御寺院お仏具の
専門店です。

やすらぎの
世界を創る



浜屋

お問い合わせ
お申し込みは

0120-1616-94

●受付時間/午前10時~午後6時30分

協 賛

法 友 会
さ つ き 会
佛 青 懇 和 会



高 龍 本 法 衣 院

〒600-8150

京都市下京区東洞院通

上珠数屋町下ル

TEL. 075-371-2852

FAX. 075-371-2857

和奏の会 翠笛会

寺院のイベントに邦楽(尺八・
箏)出張演奏いたします。

曲目はリクエストできます。

事務局: 阪南市新町 宝林寺

電話 072-472-1414

<http://homepage2.nifty.com/suiteki/>



どなた様でもお参りいただけます

法要・法話会のご案内



大阪別院孟蘭盆会

8月13日(土) 午後2時
8月14日(日) 午後2時
8月15日(月) 午後2時

大阪別院彼岸会

9月19日(月・祝) 午後2時
法話：葦名 彰 輪番
9月22日(木・祝) 午後2時
法話：佐々木太一 師
9月25日(日) 午後2時
法話：葦名 彰 輪番

大阪教区寺院で開催される法話会

◎仏願寺(大阪市東住吉区・06-6702-0994)
7月14日(木) 午後2時
「定例法話会」法話：巖水法乗 師
9月14日(水) 午後2時
「定例法話会」法話：都呂須孝文 師

◎常光寺(大阪市淀川区・06-6391-5319)

7月2日(土)～4日(月)

「紫陽聞信会」 午前9時半、午後1時

2日 法話：西田眞因 師

3日 法話：安藤章仁 師(午前)

法話：福嶋崇雄 師(午後)

4日 法話：安富信哉 師

◎正念寺(大阪市東住吉区・06-6714-3109)

7月13日(水) 午後3時

「聞法会」法話：佐竹英里子 師

※詳細は各寺院にお問い合わせください

「大悲の会」後援・布教大会

高照寺(堺市北区・072-252-2122)

7月16日(土) 午後3時

法話(第一席)：脇阪義仁 師

法話(第二席)：寿栄松正顕 師

法話(第三席)：葦名 彰 師

編集秘話

毎度の編集会議、誌面作りに侃侃諤々の議論を交わした後、後座と称して皆で遅い夕食をいただきます。誌面の内容のことから、法話会や子ども会、落語会の開催の仕方など、先輩から若手住職への激励のお言葉もいただきます。時を忘れ充実した時間を、夜中に国道沿いのカスうどんでめます。(葦名)

編集後記

巻頭写真の「旧堺燈台」は、日本最古の燈台のひとつです。でも、正確には「現地に現存する木造洋式灯台の中で日本最古」。つまり取り壊されたり、移築されたりしていない燈台の中で、しかも木造の洋式灯台に限っていうと「日本最古」だそうです。堺生まれ堺育ちですが、今まで純粋に「日本最古」だと思っていました。(隅谷)

大阪教区・別院だより『大悲』第22号(夏号)

平成28年(2016年)7月1日発行(発行部数2200部)

発行：大悲の会

事務所：佛光寺大阪別院内

〒558-0011 大阪市住吉区荻田6-11-24 電話 06-6691-1362

郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」

大悲ホームページ <http://daihi.org/>

大悲の会

長田 譲(会長)

隅谷俊紀(副会長)

寿栄松正顕(会計)

玉出宗順(会計)

門川崇志(監事)

佐々木太一

葦名 彰